

2024年度 施策評価シート(2023年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	教育委員会 義務教育課
重点戦略	I 教育県岡山の復活		
戦略プログラム	学ぶ力育成プログラム		
施策名	【重点】キャリア教育の推進		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 (小学校6年生)	年度	2021	2022	2023	2024
			目標値	67.0	68.0	69.0
現況値	65.9% (2019年度調査)	実績値	61.3	61.1	60.4	
目標値	70.0%	達成率	91.5%	89.9%	87.5%	
備考		達成度	3	3	3	

指標名	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 (中学校3年生)	年度	2021	2022	2023	2024
			目標値	45.5	47.0	48.5
現況値	44.1% (2019年度調査)	実績値	42.2	41.6	37.5	
目標値	50.0%	達成率	92.7%	88.5%	77.3%	
備考		達成度	3	3	2	

指標名	インターンシップや企業訪問等を体験した高校生の割合	年度	2021	2022	2023	2024
			目標値	97.0	98.0	99.0
現況値	95.3% (2019年度)	実績値	88.2	80.6	90.7	
目標値	100.0%	達成率	90.9%	82.2%	91.6%	
備考		達成度	3	3	3	

3 関連する事業名

- ・岡山型課題解決型学習 (PBL) 推進事業
- ・「君に届け！」夢への架け橋事業
- ・おかやま夢発信・交流事業
- ・高等学校でのインターンシップ推進
- ・高校生キャリアサポート事業
- ・SDGsの取組を進める企業等との連携による探究的な学びの推進
- ・高校生探究フォーラム

4 施策達成レベル

2.8	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

課題解決型学習である「岡山型PBL」の考え方や学習過程をまとめたガイドブックの周知・活用促進を図る研究校に対して指導・助言を行い、その成果について県内へ普及した。また、岡山県に縁のある各方面で活躍する方や地域で貢献している方からの、小・中学生を対象とした夢への実現に向けたメッセージ動画を制作し、YouTubeチャンネル「夢ボイス」に動画を公開することにより、将来の夢や目標を持つ児童生徒の育成を図った。
 経済6団体との包括連携協定の仕組みも活用したインターンシップや企業訪問等の機会の増加、ジョブフェア等を通じて高校生に対して県内事業所等の情報を得る機会を提供したことにより、インターンシップや企業訪問等を体験した高校生の割合は大きく増加し、希望者の就職決定率を高い水準で維持できた(2023年度：97.9%)。

6 今後の施策推進に向けての課題

小・中学校におけるキャリア教育のさらなる推進に向け、好事例の普及を図るとともに、学校・家庭・地域・企業等が連携し、「岡山型PBL」などの指導内容、指導方法等の工夫を図りながら、発達段階に応じ、学校の教育活動全体を通じた体系的なキャリア教育を推進する必要がある。
 高校生に対してさらなるキャリア教育の推進を図るため、普通科も含めたインターンシップや企業訪問等の充実、経済6団体との包括連携協定に基づく仕組みも活用した企業との連携をより積極的に図る必要がある。

2024年度 施策評価シート(2023年度実績)

1 評価施策名

担当部課室 教育委員会 義務教育課

重点戦略	I 教育県岡山の復活
戦略プログラム	学ぶ力育成プログラム
施策名	【重点】子どもたちの学力が伸びる仕組みづくり

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 (小学校6年生)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	67.0	68.0	69.0	70.0
現況値	65.9% (2019年度調査)	実績値	61.3	61.1	60.4	
目標値	70.0%	達成率	91.5%	89.9%	87.5%	
備考		達成度	3	3	3	

指標名	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 (中学校3年生)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	45.5	47.0	48.5	50.0
現況値	44.1% (2019年度調査)	実績値	42.2	41.6	37.5	
目標値	50.0%	達成率	92.7%	88.5%	77.3%	
備考		達成度	3	3	2	

指標名	全国学力・学習状況調査の全国平均正答率との差 (小学校6年生)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	+1	+1	+1	+1
現況値	-1ポイント (2019年度調査)	実績値	±0	-1	-1	
目標値	+1ポイント	達成率	※-%	※-%	※-%	
備考		達成度	※3	※3	※3	

指標名	全国学力・学習状況調査の全国平均正答率との差 (中学校3年生)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	+1	+1	+1	+1
現況値	±0ポイント (2019年度調査)	実績値	±0	±0	+1	
目標値	+1ポイント	達成率	※-%	※-%	※-%	
備考		達成度	※3	※3	※4	

指標名	授業以外で平日に1時間以上学習する児童生徒の割合 (小学校6年生)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	72.3	72.5	72.7	73.0
現況値	72.1% (2019年度調査)	実績値	67.1	63.8	59.2	
目標値	73.0%	達成率	92.8%	88%	81.4%	
備考		達成度	3	3	3	

指標名	授業以外で平日に1時間以上学習する児童生徒の割合 (中学校3年生)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	66.4	67.6	68.8	70.0
現況値	64.6% (2019年度調査)	実績値	64.9	60.8	58.5	
目標値	70.0%	達成率	97.7%	89.9%	85%	
備考		達成度	3	3	3	

3 関連する事業名

- ・主体的な学びの基盤づくり事業
- ・家庭学習指導の推進

4 施策達成レベル

3.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

小・中学校に支援員を配置することにより、放課後をはじめ朝学習や休憩時間等の補充学習を充実させ、児童生徒の基礎学力の定着や授業以外における学習時間の確保を図った。

また、家庭学習のスタンダード・増補版に基づき、初任者等に家庭学習に関する組織的な指導の徹底を働きかけるとともに、家庭に対しても、1人1台端末活用の視点も踏まえた家庭用資料を提示し、家庭学習の意義等について普及・啓発した。

6 今後の施策推進に向けての課題

学習習慣の確立・学習内容の定着については課題が残っており、集団から個へと階層的なアプローチを行うことで、学力の定着が不十分な児童生徒のつまづき解消を図る授業実践及び補充学習を行う学校組織体制を構築する必要がある。

2024年度 施策評価シート(2023年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	教育委員会 義務教育課
重点戦略	I 教育県岡山の復活		
戦略プログラム	学ぶ力育成プログラム		
施策名	【重点】教師の授業力の向上		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 (小学校6年生)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	67.0	68.0	69.0	70.0
現況値	65.9% (2019年度調査)	実績値	61.3	61.1	60.4	
目標値	70.0%	達成率	91.5%	89.9%	87.5%	
備考		達成度	3	3	3	

指標名	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 (中学校3年生)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	45.5	47.0	48.5	50.0
現況値	44.1% (2019年度調査)	実績値	42.2	41.6	37.5	
目標値	50.0%	達成率	92.7%	88.5%	77.3%	
備考		達成度	3	3	2	

指標名	全国学力・学習状況調査の全国平均正答率との差 (小学校6年生)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	+1	+1	+1	+1
現況値	-1ポイント (2019年度調査)	実績値	±0	-1	-1	
目標値	+1ポイント	達成率	※-%	※-%	※-%	
備考		達成度	※3	※3	※3	

指標名	全国学力・学習状況調査の全国平均正答率との差 (中学校3年生)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	+1	+1	+1	+1
現況値	±0ポイント (2019年度調査)	実績値	±0	±0	+1	
目標値	+1ポイント	達成率	※-%	※-%	※-%	
備考		達成度	※3	※3	※4	

指標名	「授業の内容はよく分かる」と回答した児童生徒の割合 (小学校6年生)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	83.7	84.2	84.6	85.0
現況値	82.9% (2019年度調査)	実績値	81.7	83.2	83.7	
目標値	85.0%	達成率	97.6%	98.8%	98.9%	
備考		達成度	3	3	3	

指標名	「授業の内容はよく分かる」と回答した児童生徒の割合 (中学校3年生)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	74.7	75.2	75.6	76.0
現況値	73.9% (2019年度調査)	実績値	79.7	77.3	79.4	
目標値	76.0%	達成率	106.7%	102.8%	105%	
備考		達成度	4	4	4	

3 関連する事業名

- ・岡山県学力・学習状況調査
- ・学力定着状況確認テスト・定着状況ウォームアップ
- ・授業改革支援事業
- ・学校現場における業務改善加速事業
- ・教師業務アシスタント配置事業
- ・ICT支援員配置事業
- ・部活動指導員配置事業

4 施策達成レベル

3.2

生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

学校経営アドバイザー等による学校訪問を通じて管理職のビジョンと戦略を支援するとともに、授業改革推進リーダー・推進員の配置、全国及び県学力・学習状況調査結果の分析に基づく課題に焦点化した取組、教師業務アシスタントや部活動指導員等の活用による教員の負担軽減と学習指導時間の確保、専門的知識を有するICT支援員の配置による児童生徒1人1台端末の活用支援を行うことにより、授業改善や校内指導体制の確立に取り組み、児童生徒への学習指導の充実を図った。

6 今後の施策推進に向けての課題

学校経営アドバイザー等による学校訪問を通じて、全ての小・中学校において学校経営アクションプランに基づいた組織的な取組を一層推進する必要がある。また、全国及び県学力・学習状況調査結果の分析に基づく取組や、授業改革推進リーダー・推進員の県下全域への継続配置などを通じて授業改革や校内指導体制の確立を図るなど、授業の質の向上に向けた取組の強化とともに、GIGAスクール構想実現に向けた各校の取組への支援を、ICT支援員の配置等を実施することにより、迅速かつ効率的に行う必要がある。併せて、教員の負担軽減及び学習指導に専念できる時間を確保できるよう、引き続き、外部人材の確保をはじめ有効な活用事例の普及を図る必要がある。

2024年度 施策評価シート(2023年度実績)

1 評価施策名	担当部課室 教育委員会 義務教育課
重点戦略	I 教育県岡山の復活
戦略プログラム	学ば力育成プログラム
施策名	【推進】就学前教育の質の向上

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	就学前教育に関する研修への延べ参加人数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	2,500	2,500	2,500	2,500
現況値	2,456人(2019年度)	実績値	1,917	2,206	2,583	
目標値	2,500人	達成率	76.7%	88.2%	103.3%	
備考		達成度	※1	※2	4	

3 関連する事業名

- ・就学前教育推進プロジェクト
- ・就学前の非認知能力育成支援事業

4 施策達成レベル

4.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

県教委に就学前教育スーパーバイザーを配置し、保幼小接続スタンダードの徹底や各市町村における保幼小接続カリキュラムの実施、改善支援に関する研修内容や開催方法の見直しを行ったことにより、研修への参加人数が増加し、県全体で質の向上が図られるとともに保幼小接続カリキュラムの実施・改善が進んだ。
また、就学前の非認知能力育成支援については、就学前の子どもの非認知能力の伸ばし方を学ぶための講座を開いた。

6 今後の施策推進に向けての課題

幼稚園教育要領等を踏まえた教育実践や、それを支える研修をより多くの者が参加できるよう研修形態等を工夫して実施するなど、就学前教育のさらなる質の向上に向けた取組等の充実が必要である。
また、就学前の非認知能力育成支援については、プログラムを実施できる指導者を養成するとともに、養成した指導者による市町村での実施を進め、県内に広く周知していく必要がある。

2024年度 施策評価シート(2023年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	教育委員会 高校教育課
重点戦略	I 教育県岡山の復活		
戦略プログラム	学ぶ力育成プログラム		
施策名	【推進】高等学校における学力の向上		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	学校の授業以外で平日に「全く又はほとんど学習しない」高校3年生の割合	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	17.2	16.4	15.7	15.0
現況値	18.8% (2019年度)	実績値	15.0	13.0	12.2	
目標値	15.0%	達成率	※114.6%	※126.2%	※128.7%	
備考		達成度	4	5	5	

3 関連する事業名

- ・ 高校生の学力状況の分析
- ・ 合同学習合宿の実施 「高い志」醸成プロジェクト

4 施策達成レベル

5.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

これまでの取組で整理された課題を踏まえ、「高校生のための学びの基礎診断」の結果を基にした各校の学力分析や合同分析会における県内外の好事例の共有、1人1台端末の活用推進、年2回の指導主事による学校訪問での授業参観、指導助言等の授業改善に係る取組により、授業以外で全く又はほとんど学習しない高校3年生の割合も減少するなど、一定の成果が見られた。

6 今後の施策推進に向けての課題

授業外における学習時間は、依然として二極化傾向にあり、基礎基本の定着に向けた学習時間の改善等において課題がある。また、学年進行に伴い、成績下位層が増え学習時間が短くなるなどの課題も見られることから、引き続き、合同分析会で各校の取組の普及や学力分析のフィードバックを行うとともに、指導主事による学校訪問の機会を活用して、各校の授業改善に係る課題を重点化して共有し、新たに取りまとめた1人1台端末活用事例集も活用した授業と家庭学習を一体的に考えた授業改善の取組を図っていく必要がある。

2024年度 施策評価シート(2023年度実績)

1 評価施策名	担当部課室 教育委員会 生涯学習課
重点戦略	I 教育県岡山の復活
戦略プログラム	学ぶ力育成プログラム
施策名	【推進】家庭・地域の教育力の向上による、子どもたちの生活習慣と学習習慣の定着

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	家庭教育企業出前講座実施数(累計)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	13	23	33	43
現況値	57件(2019年度)	実績値	10	24	36	
目標値	100件	達成率	76.9%	104.3%	109.1%	
備考	2023年度:93件(達成率は現況値からの増加数で算出)	達成度	2	4	4	

3 関連する事業名

- ・おかやま子ども応援事業
- ・生き生きおかやま家庭応援団事業

4 施策達成レベル

4.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

家庭教育企業出前講座について、関係機関との連携や様々な機会や場を活用して周知することで、目標値を上回る12件(累計93件)で実施することができた。また、12件中7件が新規の企業であり、より幅広い参加者を対象にした事業実施につなげることができた。実施後のアンケート調査では、肯定的回答(大変参考になった・参考になった)の割合が約90%であり、参加者の子育ての不安や悩みの軽減や職場内で子育てについて相談できる関係の構築の一助となることができた。

6 今後の施策推進に向けての課題

他課や関係機関と連携しながら、県内の企業に対する広報を行い、実施企業数を増やしていくことで、家庭教育に関心はあるが、仕事等により参加が難しい保護者への学習機会の提供を進める必要がある。また、企業による自走の形での事業実施の方策を検討していく必要がある。

2024年度 施策評価シート(2023年度実績)

1 評価施策名	担当部課室 教育委員会 生涯学習課
重点戦略	I 教育県岡山の復活
戦略プログラム	学ぶ力育成プログラム
施策名	【推進】地域住民の参画による学校運営協議会・地域学校協働活動の取組の推進

2 生き活き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	地域学校協働活動推進員を委嘱している市町村数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	9	12	15	17
現況値	8市町村(2019年度)	実績値	11	13	15	
目標値	25市町村	達成率	122.2%	108.3%	100%	
備考	2023年度:23市町村(達成率は現況値からの増加数で算出)	達成度	5	4	4	

3 関連する事業名

・おかやま子ども応援事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

地域学校協働活動の体制作りを推進するため、地域学校協働本部の整備や活動に対する補助事業の実施や、教育事務所と連携した担当者への働きかけ等を進め、23市町村で地域学校協働活動推進員の委嘱を行うことができた。また、教育事務所や県生涯学習センターと連携し、市町村担当者や学校関係者、地域住民等に対して、地域と学校の連携・協働の重要性や地域学校協働活動推進員の必要性を伝える研修会を開催するなどして、地域学校協働活動を行っている学校は、72.2%となり、約10ポイント向上した。

6 今後の施策推進に向けての課題

地域学校協働活動推進員の委嘱のためには、市町村担当者の理解や、コミュニティ・スクールとの一体的な推進が必要となるため、他課や教育事務所等とより一層連携し進める必要がある。また、今後より一層地域と学校の連携・協働を推進するためには、地域学校協働活動の体制整備だけでなく、地域学校協働活動の質的向上が必要であるため、教育事務所や県生涯学習センター等と連携した地域学校協働活動への伴走支援の充実を図る必要がある。

2024年度 施策評価シート(2023年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	教育委員会 特別支援教育課
重点戦略	I 教育県岡山の復活		
戦略プログラム	学ぶ力育成プログラム		
施策名	【推進】特別支援教育の充実		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	居住地校交流を実施した児童の割合(小学部)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	38.0	39.0	40.0	41.0
現況値	36.8%(2019年度)	実績値	38.8	44.0	51.0	
目標値	41.0%	達成率	102.1%	112.8%	127.5%	
備考		達成度	4	4	5	

3 関連する事業名

・小中学校等におけるインクルーシブ教育システム構築支援事業

4 施策達成レベル

5.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

特別支援学校においては、副次的な籍(交流籍)を岡山県全域を対象に導入し、実施する学校間の児童生徒、保護者、教職員の意識の向上につながっている。また、インクルーシブ教育フォーラムの開催や交流籍を活用した居住地校交流実施ガイドの活用等により普及促進を図った。

6 今後の施策推進に向けての課題

特別支援学校の保護者の中には居住地校交流について理解が得られていない保護者がいたり、小学校・中学校で居住地校交流の意義や目的についての理解が進んでいない状況があることから、リーフレットやガイドを活用し、居住地校交流の推進及び交流籍の理解促進を図る必要がある。さらに、障害種によって直接交流が難しい場合は、ICTを活用したオンライン交流も含めた多様な交流及び共同学習の推進を図る必要がある。